

2/9～13 第11回国際雪像彫刻大会ジャパンカップ ～なよろ雪質日本一フェスティバル～

9 日から13日までなよろ雪質日本一フェスティバル実行委員会主催によるフェスティバルが南広場で開催されました。

会場内には陸上自衛隊名寄駐屯地第4高射特科群による大雪像すべり台や国内外のチームが制作した雪像彫刻などが会場を冬まつりの雰囲気包みました。

国際雪像彫刻大会には5カ国13チームの参加。おらの雪像見てくれコンクールには、グループ、職場の参加があり息の合った作業風景が見られました。

このほか、雪上パークゴルフ大会や犬ぞり試乗会、歌謡ショー、スノーモービル試乗、スノーボードイベントなど多彩な催しに会場は来場者でにぎわいました。

12日には市内太陽の丘で北の天文字焼きが同実行委員会で行われ、花火とともに名寄の冬の風物詩として市民の目を楽しませてくれました。

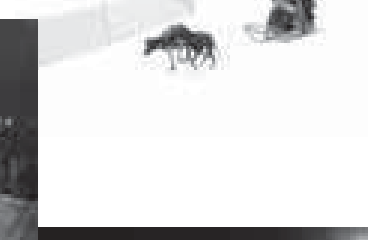


◀スノーモービル試乗会

▼犬ぞりのスピードを体感



▼スノーボードイベント



▲ライトアップした国際雪像

◀北の天文字焼き

2/12, 13 ふうれん冬まつり

12 日、13日の両日風連まちづくり観光とふうれん冬まつり実行委員会が主催するイベントが仲町特設会場で行なわれました。会場の内外には雪像コンクールに出品した21団体、7個人の作品がならび祭りムードを盛り上げました。

12日の前夜祭では、御料太鼓演奏、歌謡ショー、花火大会。13日には宝さがし、ビンゴゲームなどのほか、全日本氷上人間カーリング大会が行われました。人間カーリングには、マツコデラックスやプリキュア、バレーボール選手などに装ったグループの参加もあり、重量と押し出し加減、コースの選択で勝敗がわかりました。そして、もちまきにも多くの人を訪れ、まつりのフィナーレを迎えました。



◀チューブ滑りを楽しむ子ども達

会場内の雪像



▼もちまきの様子

▲全日本氷上人間カーリング





名寄の冬を楽しく暮らすースノーランタンー

今年も地域や学校の取り組みでスノーランタンなどが主役となるフェスティバルが開催されました。

2月5日、福祉センターでは、南地区地域づくり協議会が主催したスノーランタンの集いが行なわれ、南小学校児童や地域住民などが250人が参加し、約400個のランタンが幻想的な空間をつくり上げました。今年度、オープンした天文台「きたすばる」にちなみ「星」そして中央には「ミナミ2011」の文字を描きました。

豊西小学校グラウンドでは、PTA主催するフェスティバルが行なわれ児童、PTA、地域住民ら250人が参加しました。

給食のカップに流し込んだ手作りキャンドル250個で干支のウサギを型取り、周りに550個のスノーランタンが配置されました。花火がはじまると小山にのぼって一斉にカウントダウンの合図をおくる豊西っ子の息のあった元気な姿が見られました。

2月12日、名寄東小学校グラウンドでは、東地区連絡協議会など4団体が構成される実行委員会により開催されました。1,300個のランタンが灯され、今年も北の天文字焼きとのコラボレーションを楽しみに約300人が来場しました。校舎内のわくわくスペースでは、東小PTAによる豚汁の持て成しがあり、寒さが癒されました。

2月19日、名寄西小学校のグラウンドでは児童、PTAら110人が集まり、150個のスノーランタンと50個のアイスキャンドルを制作。ランタンやアイスキャンドルに灯がともり、グラウンド内の雪山から花火が打ち上がると、児童から歓声があがっていました。

※このほかにも、地域や職場で工夫をこらした取組が見られました。

総合福祉センター会場



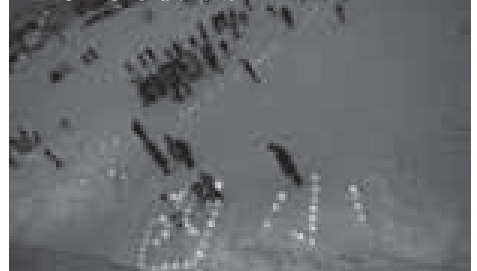
豊西小学校会場



名寄東小学校会場



名寄西小学校会場



2/8～13 地元名寄協会が日本カーリング選手権で大健闘

日本カーリング選手権が道立公園サンピラーパークカーリングホールで6日間熱い戦いが氷上で繰り広げられました。全国から男女各8チームが出場し、総当たりで予選ラウンドを行いました。

開催地を代表して出場した名寄協会女子チームは、チーム青森など強豪チームと終盤まで互角に戦う活躍で、予選を4位で通過。4チームでの決勝トーナメントでは惜しくも負けてしまいメダルを逃しましたが、日本選手権の大舞台で大健闘しました。

